

一般原則

適用範囲

本管理シートは、リスクレベル 4 が適用されるときに使用する。

背景

リスクレベル 4 では、本ツールキットに記載されている以外の特別な好事例や専門家のアドバイスが必要になるプロセスについて補足している。これらの内容は、ILO が作成した詳細な手引き書や日本の労働安全衛生法などに記載されている。また、扱う物質またはプロセスによっては、専門家を必要とする場合もある。詳細は、納入業者に確認すること。管理方式 4 が必要になる条件を次に示す。

- 有害性ランク E の化学物質を扱う場合。この化学物質は、がんや喘息などの重度の健康障害を及ぼす可能性が高いため、ばく露が許容できる濃度レベルを設定することが難しい。有害性ランク E にグループ分けされた化学物質であっても、異なる化学物質であれば、異なる管理が必要になる場合もある。
- 空気中に飛散し易く重度の健康障害を及ぼす可能性が高い化学物質を大量に扱う場合。この化学物質を扱う場合は、本ツールキットで示した管理より高いレベルの管理が全ての面で必要になる。

上記の条件のどちらかに当てはまる場合は、まず、より安全な化学物質が使えないかという観点でプロセスを見直すこと。代用の化学物質が見つからない場合は、必要な管理方式に関する好事例を捜すこと。

参考文献

- Industrial Ventilation: A Manual of Recommended Practice. American Conference of Government Hygienists. ISBN 1882417429
- Handbook of Occupational Hygiene. Croner Publications. ISBN 0903393506
- HSE Guidance Notes, Environmental Hygiene (EH) series. HSE Books. ISBN various.
- The ILO International Occupational Safety and Health Information Centre (CIS).
<http://www.ilo.org/cis>
- The International Chemical Safety Cards (ICSC) of the International Programme on Chemical Safety (IPCS).
<http://www.who.int/ipcs> and <http://www.ilo.org/safework>
- The Globally harmonized system for the classification and labelling of chemicals (GHS).
<http://www.unece.org/trans/danger/publi/ghs/ghs.html>

本シートは、ILO の著作物である「The Chemical Control Toolkit」について、厚生労働省が ILO より許諾を得て翻訳し、内容の改変を行ったものである。

原本： http://www.ilo.org/legacy/english/protection/safework/ctrl_banding/toolkit/icct/sheets/tcs-400.pdf

Original version of the International Chemical Control Toolkit Copyright © International Labour Organization.

Japanese translation Copyright © 2012 Chemical Hazards Control Division, Ministry of Health, Labour and Welfare.

The ILO shall not be responsible for the quality and accuracy of the translation.